

【1】

〔解答〕

(1) 全事象は ${}_{10}C_3 = 120$ 通り。

3つの数の和が8になる取り出し方は $(1, 2, 5)$, $(1, 3, 4)$ の2通り。

よって求める確率は $\frac{2}{120} = \frac{1}{60}$ … (答)

(2) 全事象は 10^3 通り。

最初の2つが同じになるとき (A, A, B) となるのは $10 \cdot 1 \cdot 9 = 90$ 通り。

(A, B, A) , (B, A, A) のときも同様なので $90 \cdot 3 = 270$ 通り。

よって求める確率は $\frac{270}{10^3} = \frac{27}{100}$ … (答)

【Ⅱ】

〔解答〕

(1) $f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x - 1$

$$f'(x) = 3x^2 - 12x + 9$$

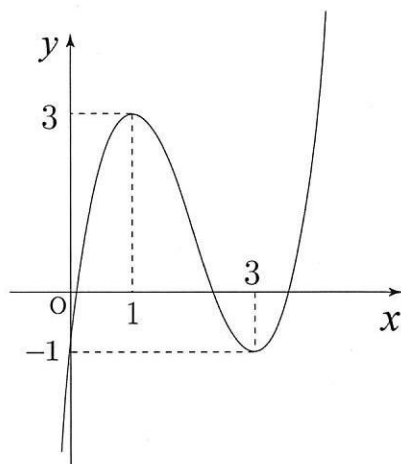
$$= 3(x-1)(x-3)$$

増減表は

x	…	1	…	3	…
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	3	↘	-1	↗

極大値 3 ($x=1$), 極小値 -1 ($x=3$)

グラフは右の通り。 … (答)



(2) $f'(2) = -3$ より A(2, 1) における接線は

$$y - 1 = -3(x - 2)$$

$$y = -3x + 7 \quad \dots \text{(答)}$$

$f'(4) = 9$ より B(4, 3) における接線は

$$y - 3 = 9(x - 4)$$

$$y = 9x - 33 \quad \dots \text{(答)}$$

(3) 2 接線の交点の x 座標は $x = \frac{10}{3}$ より求める面積 S は

$$S = \int_2^{\frac{10}{3}} \{(x^3 - 6x^2 + 9x - 1) - (-3x + 7)\} dx + \int_{\frac{10}{3}}^4 \{(x^3 - 6x^2 + 9x - 1) - (9x - 3)\} dx$$

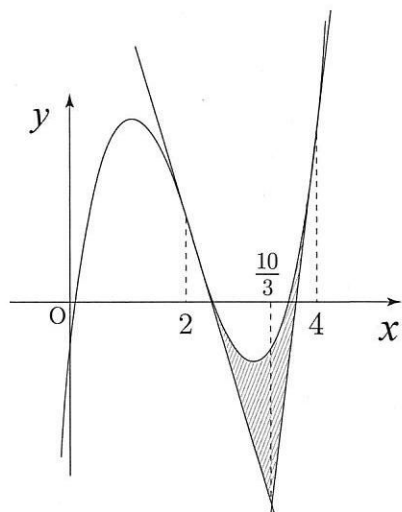
$$= \int_2^{\frac{10}{3}} (x-2)^3 dx + \int_{\frac{10}{3}}^4 (x-4)^2 (x+2) dx$$

$$= \int_2^{\frac{10}{3}} (x-2)^3 dx + \int_{\frac{10}{3}}^4 (x-4)^2 (x-4+6) dx$$

$$= \int_2^{\frac{10}{3}} (x-2)^3 dx + \int_{\frac{10}{3}}^4 \{(x-4)^3 + 6(x-4)^2\} dx$$

$$= \left[\frac{1}{4}(x-2)^4 \right]_2^{\frac{10}{3}} + \left[\frac{1}{4}(x-4)^4 \right]_{\frac{10}{3}}^4 + \left[2(x-4)^3 \right]_{\frac{10}{3}}^4$$

$$= \frac{4}{3} \quad \dots \text{(答)}$$



【Ⅲ】

〔解答〕

(1) 点Pから平面 α に垂線PHを下ろす。

このとき、 $\overrightarrow{PH} \parallel \overrightarrow{n}$ より実数 k を用いて $\overrightarrow{PH} = k \overrightarrow{n}$ と表せ、

$$\overrightarrow{OH} = \overrightarrow{OP} + k \overrightarrow{n} = (-2-3k, 1+k, 7+2k)$$

また、 $\overrightarrow{AH} \perp \overrightarrow{n} \Leftrightarrow \overrightarrow{AH} \cdot \overrightarrow{n} = 0$ であるから

$$-3(-3-3k)+1(-1+k)+2(3+2k)=0 \Leftrightarrow k=-1$$

したがって、 $\overrightarrow{OR} = \overrightarrow{OP} + 2\overrightarrow{PH} = \overrightarrow{OP} - 2\overrightarrow{n} = (-2, 1, 7) - 2(-3, 1, 2)$

$$\therefore R(4, -1, 3) \quad \dots \text{ (答)}$$

(2) 点Rは、平面 α に関して点Pと対称なので、平面 α 上の任意の点Sに対して $PS=RS$ 。

また、2点P、Qは平面 α に関して同じ側にあるので、2点Q、Rは、平面 α に関して相異なる側にある。

$PS+SQ=RS+SQ \geq RQ$ であることより、3点Q、S、Rが一直線上にあるとき、 $PS+QS$ は最小となる。

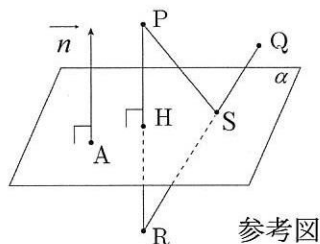
このとき、 $\overrightarrow{OS} = \overrightarrow{OR} + t \overrightarrow{RQ}$ とおけば、 $\overrightarrow{OS} = (4-3t, -1+4t, 3+4t)$ と表せる。

また、 $\overrightarrow{AS} \perp \overrightarrow{n} \Leftrightarrow \overrightarrow{AS} \cdot \overrightarrow{n} = 0$ であるから

$$-3(3-3t)+1(-3+4t)+2(-1+4t)=0 \Leftrightarrow t=\frac{2}{3}$$

したがって、 $S\left(2, \frac{5}{3}, \frac{17}{3}\right) \quad \dots \text{ (答)}$

またこのとき、 $PS+QS$ の最小値は QR であり、最小値： $\sqrt{41} \quad \dots \text{ (答)}$



【IV】

[解答]

$$(1) \int_a^x (x-t)f(t)dt = \cos(ax) - b$$

$$\Leftrightarrow x \int_a^x f(t)dt - \int_a^x tf(t)dt = \cos(ax) - b \quad \cdots \textcircled{1}$$

と変形でき、①の両辺を x で微分すると、

$$\int_a^x f(t)dt + xf(x) - xf(x) = -a \sin(ax) \Leftrightarrow \int_a^x f(t)dt = -a \sin(ax) \quad \cdots \textcircled{2}$$

また、②の両辺を x で微分すると、 $f(x) = -a^2 \cos(ax) \quad \cdots \textcircled{3}$

①、②の両辺に $x = a$ を代入すると

$$\begin{cases} \cos(a^2) - b = 0 \\ -a \sin(a^2) = 0 \end{cases}$$

$0 < a < 2$ であることより $a = \sqrt{\pi}$, $b = -1 \quad \cdots$ (答)

(2) ③の結果より $f(x) = -\pi \cos(\sqrt{\pi}x) \quad \cdots$ (答)

(3) (2) の結果より $f(x)$ は周期 $2\sqrt{\pi}$ の関数であり、

$0 \leq x \leq 2\sqrt{\pi}$ の範囲において $x = \sqrt{\pi}$ で極大かつ最大となる。

したがって、 $f(x)$ は k を整数として

$$x = (2k-1)\sqrt{\pi} \quad \cdots$$
 (答)

で最大となる。